

休眠預金等を活用した体験格差解消事業の実行団体 詳細一覧

| No. | 団体名 | 事業名 | 選定理由 | 事業費 3カ年合計 | 評価関連経費 3カ年合計 | 助成金額 3カ年総額合計 |
|-----|---------------------------------|---|---|--------------|-----------------|-----------------|
| | | 事業概要 | | | | |
| 1 | 宮城県障がい者カヌー協会 | カヌーを通じての共生社会、インクルーシブの実現を目指す事業 | ・障害者である副代表による自らの体験、経験から裏付けされた指導と、事業に対する想いから、事業構想は評価でき、実現性が高い。 | 2,085,000 | 113,000 | 2,198,000 |
| | | 障がい児と健常児と分けることなく、カヌー体験を提供することで、受動的な入口(体験)から、能動的(趣味や競技としてのカヌー)活動へ橋渡しを行う。 | | | | |
| 2 | 龍ヶ崎市B&GUSC海洋クラブ | 障害児やひとり親家庭のための運動支援 | ・障害者を対象とした事業の実績があり、行政との連携など今後の発展により、地域の目玉となる可能性が大きい。 | 2,085,000 | 113,000 | 2,198,000 |
| | | 運動・スポーツを通じて発達障害のある青少年の余暇を支援し、地域とつながることを最終目的に、参加者が主体的に取組めるアプローチを行う。 | | | | |
| 3 | 認定NPO法人Ocean's Love | 障害児等の体験格差解消事業 | ・現時点においても、障害児に特化した活動を行っており、先駆的な団体で、社会的意義が高い。 ・今行っている事業を、より魅力的に拡大し、参加する子どもだけでなく親子で絆を深める事業を期待する。 | 3,085,000 | 165,000 | 3,250,000 |
| | | 知的障がい児・発達障がい児を対象にサーフィンスクールを開催し、子供たちがソーシャルスキルを獲得できるようにスクールのプログラムを進化させる。 | | | | |
| 4 | 認定NPO法人 オーシャンファミリー海洋自然体験センター | みんなの海project ～地域のすべての子に海辺での楽しい体験を～ | ・実績もあり、事業に対する想いを評価した。今後も特別支援学校へのアプローチを進めるなど、事業拡大が期待できる。 | 3,085,000 | 165,000 | 3,250,000 |
| | | 海に行く機会がないなど見えない制約がある子、通級指導教室に通う子などに海辺での自然体験に参加する機会を設ける。 | | | | |
| 5 | 公益財団法人 身体教育医学研究所 | 障害児等の体験格差解消事業 | ・水辺体験の新たな活動普及に期待する。 ・こども食堂で食を提供するだけでなく、コミュニティプラザとして事業拡大する計画があり、発展性が期待できる。 | 4,085,000 | 217,000 | 4,302,000 |
| | | 障害児や児童養護施設の子供、一人親家庭の子供等を対象に自然体験活動を実施。健常児との交流を通して子供自身が育ちやすい地域や仕組みを整える。 | | | | |
| 6 | 有限会社SHIPMAN | 障がい児等の体験格差解消事業 | ・安全対策を含め、海洋レクリエーションの対する取り組みは高く評価出来る。 | 2,085,000 | 113,000 | 2,198,000 |
| | | 個々に必要な合理的配慮の基に、水辺での活動などを通して、規律や協力を体験的に学びながら子供たちの成長を促し、自分の力を最大限に発揮できる支援の環境づくりのモデル施設となることを目指す。 | | | | |
| 7 | NPO法人 海の達人 | 障がい児等の体験格差解消事業 | ・既に合致する事業を行っており、支援連携する団体や企業もあることから、益々充実した事業が期待できる。 | 4,085,000 | 217,000 | 4,302,000 |
| | | 障がい児や児童養護施設の子供などを対象に、海洋性レクリエーションを主とした自然体験活動を通じ、子供たちの心身の成長を促し、社会性や自立心を育むとともに、他の子供たちとの交流や活動団体間の交流等を通じて、支援の環境づくりを行う。 | | | | |
| 8 | 株式会社 FEEL | 障害児等の体験格差解消事業 | ・身体障害者や経済的に困難な家庭の親子を対象に加え、今行っている事業を拡大していく計画で、可能性を強く感じている。 ・既存の事業対象者から、新たな参加者を募る事業に対する想いと、社会的意義を理解している点を評価した。 | 5,085,000 | 275,000 | 5,360,000 |
| | | 発達障害や四肢障害、母子家庭や貧困家庭、不登校や養護施設で暮らす子供たちなどを対象に、水辺の体験活動を定期的かつ複数年体験してもらい、体験不足の子供たちの体験格差を解消する。 | | | | |
| 9 | NPO法人 コバルトブルー下関ライフセービングクラブ | プロジェクト豊夢(ホウム) | ・大学やNPO等との連携、実現性を高く評価した。今後もNPOとの連携を密にし、体験格差の解消を展開していくことが期待できる。 ・事業実績があり、事業の拡大が見込まれる。 | 4,085,000 | 217,000 | 4,302,000 |
| | | 経済的困窮など家庭内に課題を抱える子供や日常生活や成長に困難を抱える子供たちに海の楽しさや怖さを伝える親水教育を通じて、人との関係や心の育成を促すため、大学のボランティアサークルなどの人たを巻き込み、若者の能力の向上を促しつつ子供たちを育成する。 | | | | |
| 10 | NPO法人 あそびとまなび研究所 | もじうみ里海探検隊 障害児等の体験格差解消事業 | ・体験格差解消事業のベースは出来ているので、事業拡大、プログラムの多様化に期待できる。 ・これまでの実績に加え、活動から得た課題を認識し、是正の姿勢を評価。ますますの発展が見込める。 | 5,085,000 | 275,000 | 5,360,000 |
| | | 体験格差の解消を目指し、安全に通年の海辺や水辺の体験活動を行える仕組みを作り上げる。 | | | | |

※実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております